※記載例を参照の上、ご記入ください。

（様式第3号）

企業・団体名（丸共建設株式会社）

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件２）【R6.10.11変更】

	カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1	人権・労働	□	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本	･雇用、教育、昇格･昇進、福利厚生など、あらゆる雇用条件で差別しない体制を構築し、社長が積極的に関与している。「職場いきいきｱﾄﾞﾊﾞﾝｽｶﾝﾊﾟﾆｰ」2021年10月1日認証。2023年10月1日認証更新。【予定】人事評価制度を策定中、2025年4月を目指す					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2		□	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本	･毎月1日、全社員に向けた全体タ礼を通じてハラスメント禁止の周知に努める。･ハラスメント禁止する旨を就業規則に明記。「セクハラ･パワハラ･マタ、パタハラスメント」2021年6月1日より施行					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
3		□	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本	･労働基準法等の改正内容を社長を含め共有している ･長時間労働の防止については残業ゼロを目指した取組みを行っている								8.5 8.8									
4		□	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本	現在、外国人労働者は在籍していないが、差別、人権侵害への責任を果たすため情報収集等を行い理解に努めている				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
5		□	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本	･毎月1日の全体タ礼で周知し無災害に努めている 【予定】 ･コンパクトコスモス（中小規模建設事業場版の建設業労働安全衛生マネジメントシステム）2024年を目指す			3					8									
6		□	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本	･メンタルヘルスに関する情報収集を行い、理解に努めている 【予定】 ･毎年1回「ストレスチェックの実施を2024年に目指す			3														
7		□	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本	･女性が活躍できるような環境を整える ･「定年を満65才に引き上げる」2021年6月1日施行している					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8		□	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本	･職務や役割に応じた資格･免許の積極的取得を推進している（全額会社負担）･社員の自主的な自己研鑽の応援として「自己啓発奨励制度」を設けている				4	5.5			8	9								
9		□	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本	･労働基準法に沿うに対応を行う。･「職場いきいきｱﾄﾞﾊﾞﾝｽｶﾝﾊﾟﾆｰ」2021年10月1日認証を取得。2023年10月1日認証を更新 【予定】･人事評価制度を策定中、2025年4月を目指す					5.5			8.5		10.2 10.3							
10		□	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ	･社員の健康管理に取り組んでいる（体温･酒気帯びの有無の測定／毎日、血圧･脈拍の測定／月1回） ･協会けんぽ長野支部「健康づくりチャレンジ宣言」2020年7月21日に宣言を行っている			3					8									
11	環境	□	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本	･産業廃棄物処理業を行っている。がれき類、アスファルトの現状を把握し、マニフェストに沿って処理を行っている。リサイクルにも取り組んでいる。【予定】電子ﾏﾆﾌｪｽﾄ2023年12月導入した											11.6	12.4		14.1			
12		□	【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本	･一般財団法人省エネルギーセンターの「省エネ自己診断ツール」または、省エネ支援サービス（無料）により、自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握し理解を深める							7.3						13				
13		□	【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本	･排出抑制のための取り組みとして、消費電力の削減（在席していないとき、昼食時は消灯する等）、軽油の使用量削減（急発進、急加速をしない等）に努める。【予定】･プラント用自家発電（ディーゼル発電機）から電力会社の電気に切り替えを進めている。2023年9月に切り替えた							7.2 7.3					12.4	13.3				
14		□	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本	･現在、有害化学物質は使用していないが、法令等で規制されている有害化学部質を把握し理解を深める			3.9			6.3					11.6	12.4					

	カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
15	環境	□	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	特定外来生物アレチウリ等の駆除活動（社有地、工事現場）を行っている 【予定】 2023年、2024年 アレチウリ駆除草刈りに参加						6.6									15		
16	環境	□	【３Ｒの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本	廃材（コンクリート、アスファルト）、砕石から再利用建材（RC建材）製造と再利用を行っている												12.5		14.1			
17	環境	□	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ	水使用状況を把握し、水道水の使用量削減に取組んでいる 自社の井戸水を活用し社有車の洗車、敷地内の水撒きに使用している。						6.4 6.6											
18	環境	□	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	WEBセミナー「エコアクション21による省エネ、再エネ利用」を受講し理解を深めている（年4回） 【予定】「エコアクション21」の取得を2024年11月に申請			3.9			6	7					12	13.3	14	15		
19	環境	□	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	HP等で環境活動を公開します												12.6					
20	環境	□	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	社有地で太陽光パネルの設置を推進している							7.2						13				
21	環境	□	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	天然資源である千曲川の砂利採取を持続的利用に配慮した調達に取組んでいる 社有地の井戸水を飲み水以外（洗車、敷地内の水撒き）で利用している												12.2	13	14	15		
22	公正な事業慣行	□	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	汚職･贈収賄禁止の行動規範を毎月1回の全体夕礼で社内に周知に努めている																16 16.5	
23	公正な事業慣行	□	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	不正競争行為の行動規範をを毎月1回の全体夕礼で社内に周知に努めている																16	
24	公正な事業慣行	□	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	知的財産の情報収集を行い理解を深める								8.2 8.3	9								
25	公正な事業慣行	□	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	個人情報保護について理解を深め、個人情報に関する基本方針を定める																16	
26	公正な事業慣行	□	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	紛争鉱物について理解を深める																16	
27	公正な事業慣行	□	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	サプライチェーン管理について理解を深めている					5			8		10		12	13	14	15	16	17
28	公正な事業慣行	□	【パートナーシップ構築宣言】（R5.9.5～追加） ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している	基本	「パートナーシップ構築宣言」を作成･公表している			3					8	9	10							17

※「パートナーシップ構築宣言」の作成・公表方法はこちら。https://www.biz-partnership.jp/

		非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
29	製品・サービス	□	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	ISO9001にもとづき、製品安全確保するための仕組みに取り組んでいる			3.9									12.4					
30	製品・サービス	□	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	ISO9001にもとづき、品質保証するための仕組みに取り組んでいる(砕石試験書) 顧客からの声、クレームを社内共有するための仕組みに取り組んでいる									9								
31	製品・サービス	□	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	資材発注時に設計図を再度確認し、残余･不足資材の発生を防止している						6						12	13	14	15		
32	製品・サービス	□	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	災害防止、復旧工事に対応している 除雪、倒木による道路通行止め等の対処を迅速に行っている	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
33	社会貢献・地域貢献	□	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	事業活動の地域への影響の把握を行い改善に努めている				4					9		11	12		14	15		17
34	社会貢献・地域貢献	□	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	県の消防団協力事業所表示制度に加入済。砂防ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ全国連絡協議会に認定済。ｸﾘｰﾝｷｬﾝﾍﾟｰﾝ参加(道路清掃141号線)している。アレチウリ駆除草刈りに参加している				4							11			14	15		17
35	社会貢献・地域貢献	□	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ	･地域原材料の優先的調達と利用を促進している(地元河川の千曲川砂利)								8	9		11	12	13				
36	組織体制	□	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	経営理念、経営目標を社員と共有する(社内掲示、毎月1日の全体夕礼に努めている)								8	9								17
37	組織体制	□	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	法令順守(コンプライアンス)の重要性を社員と共有する(社内掲示、毎月1日の全体夕礼で周知に努めている)																16	
38	組織体制	□	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	企業活動が社会･環境に及ぼす影響について理解を深め、体制を整える																16	
39	組織体制	□	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本	ステークホルダー(※)と対話し、自社活動が及ぼすステークホルダーへの影響を把握し、理解を深める （※利害関係者）																16	17
40	組織体制	□	【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	ISO9001にもとづき、リスクを洗い出し、分析、適切な対策を講じている																16	
41	組織体制	□	【社会的責任】 ・ＣＳＲ（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	CSRの企業の社会的責任について理解を深める																16	
42	組織体制	□	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	毎月1日の全体朝礼を通じて、災害ゼロに取り組んでいる。事故や災害発生時の社内体制を定め対応にあたる 【予定】･BCPを策定中、2024年を目指す									9		11		13 13.1			16	
43	組織体制	□	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	【予定】 ･後継者候補がいる。後継者育成計画を検討を行っている								8	9								17